

再評価結果（平成17年度事業中止箇所）

担当課：北海道開発局建設部道路計画課
 担当課長名：西村 泰弘

事業名	主要道道 遠軽雄武線		事業区分	北海道	事業主体	国土交通省 北海道開発局	
起終点	自：北海道紋別郡雄武町字上雄武 至：北海道紋別郡西興部村字中興部				延長	28.7km	
事業概要	遠軽雄武線は、遠軽町から雄武町に至る延長約11.6kmの主要道道である。このうち雄武町上雄武を起点とし西興部村字中興部を終点とする延長約2.9kmの区間が開発道路に指定されている。本路線は、豊富な森林資源を活用した森林開発など、農林水産業の振興による地域活性化、観光拠点や地域プロジェクトを連絡する広域観光ルートの形成に貢献するものである。						
S63年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H元年度用地着手	H2年度工事着手				
全体事業費	124億円		事業進捗率	20%		供用済延長	7.0km
計画交通量	470台/日						
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 0.3 (事業) 0.4		総費用：(事業/事業全体) 84 / 121億円 (事業費：75/109億円) (維持管理費：9/ 12億円)		総便益：(事業/事業全体) 32 / 32億円 (走行時間短縮便益：30/ 30億円) (走行費用減少便益：2/ 2億円) (交通事故減少便益：0/ 0億円)		基準年：平成16年
感度分析の結果	事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=0.3(交通量 +10%) B/C=0.2(交通量 -10%) 事業費変動：B/C=0.2(事業費 +10%) B/C=0.3(事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=0.2(事業期間-20%) B/C=0.3(事業期間-20%)						
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する） ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる）						
関係する地方公共団体等の意見	治道自治体からは、路線の整備要望が出されており、「昨今の財政状況の中、費用対効果を考えると事業継続は非常に厳しいとの認識であるが、周辺国道網の早急な改善を望む箇所が多々あることから道路整備が重点的・効率的に実施されることを強く希望する。また、遠軽雄武線についても、財政状況に配慮しながら継続的に実施されることを強く希望する」との意見が出されている。また、北海道からは、「当路線の事業執行上の課題及び現在の事業進捗状況等を勘案すると、事業の中止もやむを得ない。」旨の意見が出されている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	昭和49年に国道238号の一次改築が完了。平成16年には高規格道路旭川紋別自動車道のうち、約4.0kmが供用されている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等	開発道路区間28.7kmの内、7.0kmを北海道に引き継いでいる。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残区間は山岳道路となっており、橋梁、トンネル等の構造物が多数予定される上（トンネル1、橋梁10）、豪雪地帯に直面するなど地形、自然条件の両面で厳しい環境により工事期間が限定される。これらの現地条件を勘案すると、今後の完成時期は最短でも平成30年代前半になることが想定される。						
施設の構造や工法の変更等	1. 5車線の整備や既存林道の活用を実現しても、並行路線である国道238号に比べて走行速度が低下するため便益の増加は望めず、有効なネットワーク形成とはならない。						
対応方針	事業中止 今後、本路線周辺の道路ネットワーク機能の充実に関する検討を進める。						
対応方針決定の理由	事業の投資効果、事業進捗の見込み、代替案立案の可能性及び関係地方公共団体等の意見を総合的に判断した。						
事業概要図							

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。